

善兵衛さんに行き

古民家deインクルーシブ・パフォーマンス・アーツ

主催 萩原 昌子

日程 平成30年10月20日（土）プレビュー、10月21日（日）昼・夕 全3公演

会場 市田邸（台東区上野桜木1-6-2）

本公演は、長い時間を重ねてきた古民家を会場に、身体障害者（ろう者）やホームレス経験者をはじめ、多様な背景をもつ表現者が、観客も含め、その場ならではの表現を重ねてインクルーシブで創造的な場を作り出すことを目的に開催されました。

ろう者の即興のサインポエム（手話による詩朗読）、書画、聴者の音声による詩の朗読とパフォーマンス、手話と歌声による歌、即興のダンス、即興の音楽を組み合わせたライブパフォーマンスです。合わせて字幕によるパフォーマンスを兼ねたアクセシビリティ支援を行いました。

築100年を超える古民家市田邸の庭、お座敷をパフォーマンスの一部として取り入れ、市田邸の歴史にリスペクトした作品を展開しました。

構成の途中で観客が席を移動するなど、市田邸を見る角度を変える楽しみを取り入れました。終盤のオープンマイクでは、観客も巻き込んだ即興のパフォーマンスが展開されました。



会場である市田邸は、明治40年、当時日本橋で布問屋を営んでいた初代市田善兵衛によって建てられました。江戸より寛永寺の子院である松林院のあった場所です。芸術文化の杜である上野公園から谷中方面へ抜ける入口に位置し、江戸から明治に続く寺町・お屋敷町の風情を現代に伝えています。1階座敷を芸術文化活動の拠点として活用を行っており、今回のインクルーシブパフォーマンスの趣旨に沿ったアットホームな会場でした。

手話による詩の朗読（サインポエム）やヴァイオリンなどの楽器演奏、即興で文字を映し出す字幕によるアクセシビリティ支援を実施しました。

築100年を超える古民家市田邸の庭、お座敷をパフォーマンスの一部として取り入れ、市田邸の歴史にリスペクトした作品を展開しました。

（→）写真中央で、サインポエムを行う萩原さんたち



(※以下の6枚は公演時の写真。撮影:チーム屋上)



路上生活経験を持つダンスグループ、新人Hソケリッサ！による即興のダンスパフォーマンスも行われました。



プレビュー公演を含む2日間、全3回の公演は、盛況のうちに終了しました。今後も、台東区の古民家等を舞台に、障害のあるなしを超えたあらゆる表現者によるパフォーマンスツアーを展開していく予定です。